

# 新年度を迎えて

校長

ルーマニアは、今、素晴らしい青空が広がり、とても気持ち良い季節を迎えています。葉を落として冬の寒さに耐えていた木々も少しずつ芽吹き始め、春の訪れを待ち望んでいたように見えます。

平成はあと一か月で終わり、新しく令和の時代が始まります。令和元年となる記念すべき年度がいよいよ始まりました。伝統あるブカレスト日本人学校は、昨年、創立40周年を迎え、今年は41年目となります。新たに入学、編入した5名の児童生徒が加わり10名でのスタートになります。それぞれ新しい学年に進級し、緊張感とともに大きな期待に胸を膨らませていることと思います。

日本人学校の教育目標は「国際的な視野に立ち、自ら考え、正しく判断し、行動する児童生徒の育成」です。自ら考える力と正しい判断力、そして行動力を身に付け、様々な活動をとおして脳と体と心を鍛え、いつも夢や目標をもってその実現のために努力し、価値ある学校生活を送ってくれることを期待しています。

昨年1年間、児童生徒の様子をみていてとても感心したことがあります。それは、小学生も中学生も、男子も女子も、体を大きい人も小さい人もみんなが楽しい学校生活を送っていたということです。日本国内の学校で、今、一番問題になっているのはいじめですが、ブカレスト日本人学校には相手の悪口を言ったり、仲間外れにしたりといった嫌がらせやいじめがありません。このいじめがないということが日本人学校の最もよいところでもあり学校の自慢でもあります。

しかし、今日なかったから、明日もないとは限りません。決して油断することなくいじめはどこにでも誰にでも起こるということを頭において、すべての児童生徒が気持ちよく毎日を送れる学校をつくっていききたいと思います。

そして、学校へ通う一番の目的は学習することです。学んで身に付けた知識や思考力、判断力は決して決して無駄になったり、その人にとってじゃまになったりすることはないということをこれからも訴え続けていきます。たくさんの分野に興味をもち、自分の疑問をとことん追求し、貪欲に知識を吸収する児童生徒の育成を目指していききたいと考えています。

この4月、教職員1名が新たに着任いたしました。児童・生徒は小学部7名、中学部3名、派遣教職員5名、現地スタッフ1名、合わせて16名でのスタートになります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## <派遣教員>

校長：清水 哲也（新潟）  
教頭：山崎 信也（神奈川）  
小学部下学年担任、生徒指導主任：佐々木 梢（栃木）  
小学校上学年担任、教務主任：山田 由香里（青森）  
中学部担任、研究主任：小齊平やよい（鹿児島）



## <現地スタッフ>

事務担当、英語講師：ドラグリン ミハイ（ルーマニア）